

名城大学学則

(平成6年4月1日制定)

第1章 総則

第1節 目的

(目的)

第1条 本学は、教育基本法及び学校教育法に基づき深く専門の学芸を教授研究し、幅広い知識を授け、世界の文化の進展と人類の平和に貢献しうる人材を育成することを目的とする。

(自己点検・評価)

第1条の2 本学は、教育研究の質の向上を図り、本学の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について、点検及び評価を行うものとする。

- 2 自己点検・評価の結果は公表し、教育研究の質保証及び改善に努める。
- 3 自己点検・評価に関し必要な事項は、別に定める。

第2節 組織

(学部)

第2条 本学に次の学部を置く。

国際学部

人間健康学部

- 2 前項の学部置く学科及びその入学定員、編入学定員、収容定員は、次のとおりとする。ただし、編入学定員は3年次定員とする。

| 学部 | 学科 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 |
|--------|----------|------|-------|-------|
| 国際学部 | 国際文化学科 | 180人 | 5人 | 730人 |
| | 国際観光産業学科 | 160人 | 5人 | 650人 |
| 人間健康学部 | スポーツ健康学科 | 95人 | 5人 | 390人 |
| | 看護学科 | 80人 | 5人 | 330人 |
| | 健康情報学科 | 80人 | 5人 | 330人 |
| 計 | | 595人 | 25人 | 2430人 |

- 3 前項に規定する国際学部各学科の入学定員中5人は外国人留学生とする。

(大学院)

第2条の2 本学に大学院を置く。

- 2 大学院に関する規程は、別に定める。

(助産学専攻科)

第2条の3 本学に助産学専攻科を置く。

- 2 助産学専攻科に関する規程は、別に定める。

(附属図書館)

第3条 本学に附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

第3条の2 本学に附属研究所を置く。

2 附属研究所に関し必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第4条 本学に事務局を置く。

2 事務局の組織に関し必要な事項は、別に定める。

第3節 職員

(職員)

第5条 本学に学長、副学長、教授、准教授、講師、助教、助手、事務職員及びその他必要な職員を置く。

2 職制に関し必要な事項は、別に定める。

(学長)

第5条の2 学長は、校務をつかさどり、職員を統督する。

(副学長)

第5条の3 副学長は、学長を助け、命を受けて校務をつかさどる。

2 副学長に関し必要な事項は、別に定める。

(職員の連携及び協働)

第5条の4 本学は、教育研究活動等の組織的かつ効果的な運営を図るため、教育職員と事務職員との適切な役割分担の下で連携体制を確保し、協働して職務を行うものとする。

第4節 教育研究審議会及び教授会

(教育研究審議会)

第6条 本学の教育研究に関する重要事項を審議するため、教育研究審議会を置く。

2 教育研究審議会の運営に関する規定は、別に定める。

(教授会)

第6条の2 本学の学部教授会を置く。

2 教授会の組織及び運営に関する事項は、別に定める。

第5節 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 本学の学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(学期)

第8条 学年を次の2学期に分け、学期ごとに授業科目を開設し、第15条に定めるところにより単位の認定を行う。

前学期 4月1日から9月30日まで

後学期 10月1日から翌年の3月31日まで

2 学長は、前項の学期の期間を必要に応じて変更することができる。

(休業日)

第9条 休業日は次のとおりとする。

- (1) 日曜日及び土曜日
 - (2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律178号）に規定する休日
 - (3) 沖縄県慰霊の日 6月23日
 - (4) 創立記念日 12月21日
 - (5) 夏季休業 8月1日から9月30日まで
 - (6) 冬季休業 12月21日から翌年1月4日まで
 - (7) 春季休業 3月1日から3月31日まで
- 2 学長は、前項の休業日を必要に応じて変更することができる。
 - 3 臨時休業日は、その都度学長が定める。
 - 4 休業日の期間中でも必要な実習その他を課することができる。

第2章 修業年限及び在学期間

（修業年限）

第10条 本学の修業年限は、4年とする。

- 2 前項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し卒業することを希望する旨を申し出たときは、支障のない場合に限り、その計画的な履修（以下「長期履修」という。）を認めることができる。
- 3 長期履修の取扱いに関する細則は、別に定める。

（在学期間）

第11条 学生は、修業年限の2倍を超えて在学することができない。

- 2 前項の規定に関わらず、第23条の規定により入学した者は、4年を超えて在学することができない。
- 3 第1項の規定に関わらず、第24条第1項及び第25条第1項の規定により入学した者は、入学後の在学すべき年数の2倍を超えて在学することができない。

第3章 教育課程

（教育課程の編成方針）

第12条 本学は、学部及び学科の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を開設し、学部及び学科ごとに体系的な教育課程を編成するものとする。

（人材養成の目的）

第12条の2 学部の人材養成の目的を次のとおり定める。

(1) 国際学部

平和・自由・進歩の建学の精神に基づいた幅広い教養と地域社会及び国際社会への深い理解をそなえた有為な人材を養成する。

ア 国際文化学科

沖縄県が持つ地理的・歴史的・文化的特性を活用し、多文化理解力、高い日本語能力、英語をはじめとする外国語の実践的運用能力を身につけ、地域社会および国際社会で活躍できる人材を養成する。

イ 国際観光産業学科

観光産業および地域振興における社会的ニーズに対応し、多様化する問題・課題のマネジメント能力をそなえ、地域社会および国際社会に貢献できる実践力のある人材を養成する。

(2) 人間健康学部

平和・自由・進歩の建学の精神に基づいた幅広い教養と調和のとれた知・徳・体をそなえた人材及び心身の健康を支援する有為な人材を養成する。

ア スポーツ健康学科

人間の「こころ」と「からだ」を科学的に研究し、人格の尊重、生命の尊厳を指導できる資質をそなえた健康支援の人材を養成する。

イ 看護学科

人間としての尊厳・健康に生きる権利を擁護し、自己評価能力・自己教育力を身につけ、広く社会に貢献できる看護職者を養成する。

ウ 健康情報学科

数理・データサイエンス・AI の手法を駆使し、保健・医療・福祉などを含む健康分野と社会全般に関するデータを分析することで、新たな価値やサービスの創出に貢献できる人材を養成する。

(教育研究上の目的)

第12条の3 学部の教育研究上の目的を次のとおり定める。

(1) 国際学部

ア 国際文化学科

自国及び環太平洋地域を中心とする国・地域の言語・文化・政治等に関する知見を基礎に学際的研究及び理論、実践、比較研究を通じ、地域社会及び国際社会における課題の解決に取り組む。

イ 国際観光産業学科

観光産業および地域振興における社会的ニーズの変化とともに多様化する問題・課題に対応して、学際的研究及び理論、実践、比較研究を通じ、観光現象を探求・究明する。

(2) 人間健康学部

ア スポーツ健康学科

人間理解、健康理解を基礎として、食生活・栄養、運動・スポーツ、心理、社会福祉、保健・医療の幅広い視点に立った多面的角度から「スポーツと健康」を探求・究明する。

イ 看護学科

地域に根ざしたケアリング文化を発掘・継承・発展させ、人類の健康増進に務め且つ看護学のグローバルな発展に寄与することを目的に教育研究活動を推進する。

ウ 健康情報学科

数理・データサイエンス・AI の手法を駆使し、保健・医療・福祉などを含む健康分野と社会全般に関するデータを分析することで、多面的な視点から「健康と情報」を探求・究明する。

(3つのポリシー)

第12条の4 本学は、人材養成並びに教育研究上の目的を踏まえ、卒業認定・学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、及び入学者受入れの方針（以下、「3つのポリシー」という。）を定める。

2 3つのポリシーに関し必要な事項は、別に定める。

(授業科目の名称及び単位数等)

第13条 本学における授業科目の名称並びに単位数は、各学部履修規程に定める。

2 授業科目は、必修科目、選択科目及び自由科目とする。

3 外国人留学生対象の外国語教育科目の種類及び単位数は、各学部履修規程に定める。

4 卒業に必要な単位数は、各学部履修規程に定める。

(授業の方法)

第13条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれか又はこれらの併用により行うものとする。

2 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができるものとする。

3 本学は、第一項の授業を、外国において履修させることができるものとする。前項の規定により、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させる場合についても同様とする。

4 本学は、文部科学大臣が別に定めるところにより、第一項の授業の一部を校舎及び附属施設以外の場所で行うことができるものとする。

(単位の計算方法)

第14条 授業科目の単位の計算方法は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業及び授業時間外に必要な学修を考慮し、次の基準により単位数を計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間の授業をもって1単位とする。

(3) 講義又は演習及び実験、実習又は実技の二つ以上の方法で構成される授業科目については、上記(1)及び(2)を勘案し、16時間から45時間をもって1単位とする。

2 前項の規定にかかわらず、卒業論文等の授業科目については、必要な学修の成果を考慮して、単位数を定めることができる。

(単位の授与)

第15条 授業科目を履修した者には、試験及び出席状況その他によって認定の上、単位を与える。

(成績評価)

第16条 授業科目の成績は、秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)及び不可(59点以下)の5種類の評語をもって表し、秀、優、良及び可を合格とし不可を不合格とする。ただし、実習の場合は、合格又は不合格の評語をもって表すことができる。

(授業日数)

第17条 学年の授業日数は、定期試験の日数も含め、35週にわたることを原則とする。

(各授業科目の授業時間)

第17条の2 各授業科目の授業は、8週又は15週にわたる期間を単位として行うものとする。ただし、教育上必要があり、かつ、十分な教育効果をあげることができると認められる場合は、この限りではない。

(授業を行う学生数)

第17条の3 本学が一の授業科目について同時に授業を行う学生数は、授業の方法及び施設、設備その他の教育上の諸条件を考慮して、教育効果を十分にあげられるような適当な人数とする。

第4章 入学、編入学、転入学及び再入学

(入学)

第18条 入学の時期は、学年の始めとする。ただし、再入学及び外国人学生の入学については、学期の始めとすることができる。

(入学資格)

第19条 本学の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧規程による大学入学資格検定(以下「旧検定」という。)に合格した者を含む。)
- (7) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、当該者をその後に入学者とする大学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (9) 大学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者

(入学志願手続)

第20条 入学を志願する者は、所定の期日までに入学願書に入学検定料及び別に定める書類を添えて願出しなければならない。

(入学者の選抜)

第21条 入学志願者に対しては、選抜試験を行う。

(入学手続及び入学許可)

第22条 選抜試験の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、個人情報取扱い同意書その他必要な書類を提出しなければならない。

2 学長は、前項の入学手続を完了した者に入学を許可する。

(編入学)

第23条 編入学の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 大学を卒業した者又は大学に2年以上在学し60単位以上を修得した者
- (2) 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所又は国立養護教諭養成所を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第92条の3に定める従前の規定による高等学校、専門学校又は教員養成諸学校等の課程を修了し又は卒業した者

2 編入学を志願する者は、所定の期日までに編入学願書に編入学検定料及び別に定める書類を添えて願出なければならない。

- 3 編入学志願者に対しては、選抜試験を行う。
- 4 選抜試験の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに、誓約書、保証書その他必要書類を提出しなければならない。
- 5 学長は、前項の編入学手続を完了した者に編入学を許可する。

(転入学)

第24条 他の大学に在学中の者で、本学に転入学を志願する者があるときは、欠員のある場合に限り、学長は、相当年次に入学を許可することができる。

- 2 転入学を希望する者は、現に在学する大学の学長の許可書を願書に添付しなければならない。
- 3 前2項に定めるもののほか、転入学に関し必要な事項は別に定める。

(再入学)

第25条 次の各号の一に該当する者で、同一学科に再入学を志願する者があるときは、学長は、相当年次に入学を許可することができる。

- (1) 第28条による退学者
- (2) 第29条第5号、第6号及び第7号の規定により除籍された者
- 2 前項に定めるもののほか、再入学に関し必要な事項は別に定める。

第5章 休学、復学、退学、除籍、転学部、転学科及び転学

(休学)

第26条 病気その他の理由により修学を中止しようとする者は、医師の診断書又は理由書を添えて願い出、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 学長は、病気その他の理由により修学が不相当と認められる者に対して、必要な期間休学を命ずることができる。
- 3 休学期間は、当該学期又は学年の終わりまでとする。ただし、特別の理由があるときは、休学期間を延長することができる。
- 4 休学期間は通算して4年を超えることはできない。
- 5 前項の規定に関わらず、第23条の規定により入学した学生の休学期間は、通算して2年を超えることはできない。
- 6 第4項の規定に関わらず、第24条第1項及び第25条第1項の規定により入学した学生の休学期間は、入学後の在学すべき年数を超えることができない。
- 7 休学期間は、第10条に規定する修業年限及び第11条に規定する在学期間に算入しない。

(復学)

第27条 休学期間を満了した者、又は休学期間満了前にその理由が消滅した者は、所定の期日までに願い出、学長の許可を得て復学することができる。

- 2 病気による休学者が復学しようとするときは、医師の診断書を添付するものとする。

(退学)

第28条 退学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

(除籍)

第29条 次の各号の一に該当する者は、学長が、これを除籍する。

- (1) 長期間にわたり行方不明の者
- (2) 在学期間を超えた者
- (3) 第26条第4項、第5項及び第6項に定める休学期間を超えてなお修学できな

い者

- (4) 病気その他の理由により、成業の見込みがないと認められる者
- (5) 休学期間満了後督促してもなお所定の手続きをしない者
- (6) 授業料の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (7) 卒業に要する最終学年を除く一学年の修得単位(第35条により認定された単位は除く。)が16単位未満の者

(転学部)

第30条 本学の学生で、他の学部への転出(以下「転学部」という。)を志望する者があるときは、学長は、相当年次に転学部を許可することができる。

- 2 前項に規定するもののほか、転学部については、別に定める。

(転学科)

第30条の2 本学の学生で、転学科を志願する者があるときは、学長は、相当年次に転学科を許可することができる。

- 2 前項に規定するもののほか、転学科については、別に定める。

(転学)

第31条 本学の学生で他の大学へ入学又は転入学しようとする者は、学長の許可を得なければならない。

第6章 卒業及び学位

(卒業)

第32条 次の要件を満たした者には、学長が卒業を認定する。

- (1) 第10条に規定する修業年限在籍した者
- (2) 第13条第4項に規定する単位を修得した者
- (3) 卒業判定に合格した者

- 2 卒業判定に係る卒業見込判定等については、別に定める。

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修)

第33条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、60単位を超えない範囲で、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学する場合に準用する。

(大学以外の教育施設等における学修)

第34条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

- 2 前項に与えることができる単位数は、前条第1項及び第2項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第35条 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学等において履修した授業科目について修得した単位(第39条及び第40条の規定により履修した単位を含む。)を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

- 2 学長は、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第1項に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることが

できる。

- 3 前2項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第33条第1項及び第2項並びに前条第1項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(遠隔授業により修得することができる単位数)

- 第35条の2 第13条の2第2項の授業の方法により修得できる単位数は、第13条第4項に規定する卒業の要件として修得すべき単位数のうち、60単位を超えないものとする。

(教員の免許状授与の所要資格の修得)

- 第35条の3 教員の免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、教育職員免許法(昭和24年法律第147号)及び教育職員免許法施行規則(昭和29年文部省令第26号)の定めるところに従い、各学部履修規程に定めるところにより授業科目を履修し、単位を修得しなければならない。

- 2 本学において当該所要資格を取得できる教員の免許状の種類は、各学部履修規程に定める。

(他学部等における授業科目の履修等)

- 第35条の4 学生は、他の学部又は他の学科の授業科目を履修することができる。

- 2 前項の規定の実施に際し必要な事項は、別に定める。

(学位)

- 第36条 本学を卒業したものには、学士の学位を授与する。

- 2 学位に関し必要な事項は、別に定める。

第7章 学費

(学費及びその他の納入金)

- 第37条 本学の学費は、諸納入金の種類及び額等については、公立大学法人名桜大学学費及び諸納入金に関する規程の定めるところによる。

第8章 科目等履修生、特別聴講学生及び聴講生

第38条 削除

(科目等履修生)

- 第39条 本学において、授業科目の履修を希望する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、学長は、当該学部の教授会の議を経て科目等履修生として入学を許可することができる。

- 2 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第40条 削除

(特別聴講学生)

- 第41条 他の大学等との協議に基づき、当該大学等の学生に授業科目の履修を認め

ることができる。

- 2 前項の規定により授業科目の履修が認められた学生は、特別聴講学生と称する。
(聴講生)

第41条の2 学外者が本学の授業科目の聴講を希望する場合、学長は、聴講生として受け入れることができる。

- 2 聴講生に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 公開講座

(公開講座)

第42条 大学の教育を広く社会に開放し、生涯学習に対する要望に応えるとともに、文化の向上に資するため、本学に公開講座を開設することができる。

第10章 賞罰

(表彰)

第43条 学生として表彰に価する行為があった者は、学長は、これを表彰する。

(懲戒)

第44条 学生が、本学の規則に違反し、または学生としての本分に反する行為があったときは、学長は、これを懲戒する。

- 2 前項の懲戒の種類は、訓告、停学又は退学とする。
3 前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
(2) 学業を怠り、成業の見込みがないと認められる者
(3) 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

第11章 寄宿舍

(寄宿舍)

第45条 本学に寄宿舍を置く。

- 2 寄宿舍に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この学則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則

この学則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則 (平成10年3月27日)

- 1 この学則は、平成10年4月1日から施行する。
2 平成10年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成11年3月26日）

- 1 この学則は、平成11年4月1日から施行する。
- 2 平成11年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成12年3月29日）

- 1 この学則は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、国際学部の国際文化学科、経営情報学科及び観光産業学科の平成12年度から平成14年度までの収容定員は次のとおりとする。

| 学 部 | 学 科 | 平成12年度 | 平成13年度 | 平成14年度 |
|------|--------|--------|--------|--------|
| 国際学部 | 国際文化学科 | 470人 | 470人 | 465人 |
| | 経営情報学科 | 470人 | 470人 | 465人 |
| | 観光産業学科 | 470人 | 470人 | 465人 |
| 計 | | 1410人 | 1410人 | 1395人 |

- 3 平成12年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。
- 4 改正後の第37条の3及び別表5の規定は、平成12年4月1日を休学及び入学の始期とする者から適用する。

附 則（平成13年3月28日）

- 1 この学則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 平成13年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成14年3月29日）

- 1 この学則は、平成14年4月1日から施行する。
- 2 平成14年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成14年7月31日）

この学則は、平成14年7月31日から施行し、改正後の第37条の2及び第37条の4の規定は、平成14年4月1日から適用する。

附 則（平成15年3月28日）

- 1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。
- 2 平成15年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成16年3月28日）

- 1 この学則は、平成16年4月1日から施行する。
- 2 平成16年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成17年3月29日）

- 1 この学則は、平成17年4月1日から施行する。
- 2 平成17年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成18年3月29日）

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成18年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成19年3月27日）

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成20年3月27日）

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。
- 2 平成20年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成20年11月28日）

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。
- 2 平成21年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成22年3月4日）

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 平成22年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成23年1月26日）

- 1 この学則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成23年9月28日）

- 1 この学則は、平成24年4月1日から施行する。
- 2 平成24年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成24年10月24日）

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。
- 2 平成25年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成25年10月24日）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成26年9月27日）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 平成27年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成27年3月28日）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。
- 2 国際学部国際文化学科、経営情報学科、観光産業学科は、平成27年3月31日をもって廃止する。

附 則（平成27年9月30日）

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 平成28年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成28年9月27日）

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成28年12月21日）

- 1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 平成29年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成29年9月29日）

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成30年3月29日）

- 1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成30年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（平成31年2月15日）

- 1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成31年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和2年2月17日）

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。

- 2 令和2年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和2年3月27日）

- 1 この学則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和3年3月24日）

- 1 この学則は、令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和3年6月29日）

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和3年12月24日）

- 1 この学則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。

附 則（令和5年3月29日）

- 1 この学則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。
- 3 国際学群国際学類は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、当該学群学類に在学する者が当該学群学類に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（令和5年12月27日）

- 1 この学則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。
- 3 国際学群国際学類は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、当該学群学類に在学する者が当該学群学類に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則（令和6年12月26日）

- 1 この学則は、令和7年4月1日から施行する。
- 2 令和7年3月31日に在学する者には、改正後の第13条の規定にかかわらず、従前の規定を適用する。
- 3 国際学群国際学類は、改正後の第2条第2項の規定にかかわらず、当該学群学類に在学する者が当該学群学類に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

名桜大学学位規則

(平成13年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規則は、学位規則（昭和28年文部省令第9号）第13条、名桜大学学位規則第36条第2項及び名桜大学大学院学則第42条第2項の規定に基づき、名桜大学（以下「本学」という。）が行う学位授与の手続き及び方法に関する必要な事項を定める。

(学士の学位授与の要件)

第2条 学士の学位授与は、本学を卒業した者に対し行う。

(修士の学位授与の要件)

第3条 修士の学位の授与は、本学大学院修士課程及び博士前期課程（以下「修士課程及び博士前期課程」という。）を修了した者に対し行う。

(博士の学位授与の要件)

第4条 博士の学位の授与は、本学大学院博士後期課程（以下「博士後期課程」という。）を修了した者に対し行う。

(学位論文の提出)

第5条 修士の学位論文は、研究科長（修士課程及び博士前期課程）に提出する。

2 博士の学位論文は、研究科長（博士後期課程）に提出する。

第6条 提出する学位論文は、1編とする。ただし、参考として他の論文を添付することができる。

第7条 研究科委員会は、審査のため必要があるときは、論文の抄訳及びその他の資料の提出を求めることができる。

第8条 受理した論文は、返付しない。

(審査の付託)

第9条 研究科長は、第5条第1項及び第2項の規定より学位論文を受理したときは、研究科委員会に審査を付託しなければならない。

第10条 研究科委員会は、学位論文の審査を付託されたときは、審査会を設置し、審査させるものとする。

2 審査会は、3人以上の審査委員をもって組織する。

3 審査会は、学位論文の審査のほか最終試験、又は学力の確認を行う。

4 研究科委員会は、学位論文の審査に当たって必要があるときは、他の大学院又は研究所等の教員等に審査の協力を求めることができる。

(最終試験)

第11条 最終試験は、学位論文審査終了後、学位論文を中心として口述又は筆記試験によって行う。

(審査の確認)

第12条 学位論文の審査及び最終試験又は学力の確認は、その在学期間中に終了し

なければならない。

(研究科委員会への報告)

第13条 審査会は、学位論文の審査及び最終試験又は学力の確認を終了したときは、その審査要旨に意見を付して、最終試験又は学力の確認の成績とともに、文書で研究科委員会に報告しなければならない。

(研究科委員会の議決)

第14条 研究科委員会は、前条の報告に基づいて審議し、学位授与の可否を議決する。

2 前項の議決は、出席委員の3分の2以上の賛成がなければならない。

(学長への報告)

第15条 研究科長は、研究科委員会が前条第1項の議決をしたときは、学位論文の審査要旨、最終試験又は学力の確認の成績を添えて議決の結果とともに、文書で学長に報告しなければならない。

(学位の授与)

第16条 学長は、前条の報告に基づき、学位授与の可否を決定し、授与すべき者には、所定の学位記を交付し、授与できない者には、その旨を本人に通知する。

2 学長は、前項によって学位を授与したときは、研究科長に通知する。

(専攻分野の名称)

第17条 学位を授与するに当たっては、専攻分野の名称を付記する。

2 専攻分野の名称は次の表のとおりとする。

(学士の専攻分野の名称)

| 学部 | 学科 | 名称 |
|--------|----------|---------|
| 国際学部 | 国際文化学科 | 国際文化学 |
| | 国際観光産業学科 | 国際観光産業学 |
| 人間健康学部 | スポーツ健康学科 | スポーツ健康学 |
| | 看護学科 | 看護学 |
| | 健康情報学科 | 健康情報学 |

(修士及び博士前期課程の専攻分野の名称)

| 研究科 | 専攻 | 名称 |
|-------------|------------|----------|
| 国際文化研究科 | 国際文化システム専攻 | 国際文化 |
| 看護学研究科 | 看護学専攻 | 看護学 |
| スポーツ健康科学研究科 | スポーツ健康科学専攻 | スポーツ健康科学 |

(博士の専攻分野の名称)

| 研究科 | 専攻 | 名称 |
|---------|----------|--------|
| 国際文化研究科 | 国際地域文化専攻 | 国際地域文化 |
| 看護学研究科 | 看護学専攻 | 看護学 |

(学位の名称)

第18条 本学において学位を授与された者が、学位の名称を用いるときは、「名桜大

学」と付記しなければならない。

(学位授与の取消し)

第19条 学位を授与された者が、その名誉を汚す行為があったとき又は不正の方法により学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、学士にあっては教授会、修士及び博士にあっては大学院委員会の議を経て、学位の授与を取消し、学位記を返付させ、かつ、その旨を公表する。

2 教授会又は大学院委員会において前項の議決をする場合は、学士にあっては教授会規則第5条第2項の規定、修士及び博士にあっては学位規則第14条第2項の規定を準用する。

(学位記の様式)

第20条 学位記の様式は、学士にあっては別紙様式1-1、様式1-2、修士にあっては別紙様式2-1及び2-3、博士前期課程にあっては様式2-2、博士にあっては別紙様式3-1、様式3-2のとおりとする。

(補則)

第21条 この規則で定めるもののほか、学位に関し必要な事項は、学士にあっては学長、修士及び博士にあっては研究科長が別に定める。

(雑則)

第22条 この規則の改廃は、教育研究審議会の議を経て、学長が行う。

附 則

- 1 この規則は、平成13年4月1日から施行する。
- 2 この規則施行前に授与された学士の学位は、この規則に基づき授与されたものと見なす。

附 則

- 1 この規則は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成19年3月31日に在学する者には、改正後の第16条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成23年3月31日に在学する者には、改正後の第16条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。
- 2 平成26年3月31日に在学する者には、改正後の第16条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

- 2 平成31年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則（令和3年12月16日）

- 1 この規則は、令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則（令和4年3月23日）

- 1 この規則は、令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項の規定にかかわらず従前の規定を適用する。

附 則（令和6年2月28日）

- 1 この規則は、令和6年4月1日から施行する。
- 2 令和6年3月31日に在学する者には、改正後の第17条第2項及び第20条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

様式 1-1

(国際学部を卒業した場合)

| | | | | | | | | | | |
|--------|-------------|--------------------------------------|------------------|--|--|---|------------------|--------|-------------|----------------------------|
| 第 号 | 年 月 日 | 名 桜 大 学 長 氏 名 印 | 授 与 す る | 学 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る | 課 程 を 修 め た の で 卒 業 を 認 定 し | 本 学 国 際 学 部 学 科 所 定 の | 年 月 日 生 | 氏 名 | 学 位 記 | 之 大 名 印 学 桜 |
| | | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする

様式 1-2

(人間健康学部を卒業した場合)

| | | | | | | | | | | |
|--------|-------------|--------------------------------------|------------------|--|--|---|------------------|--------|-------------|----------------------------|
| 第 号 | 年 月 日 | 名 桜 大 学 長 氏 名 印 | 授 与 す る | 学 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る | 課 程 を 修 め た の で 卒 業 を 認 定 し | 本 学 人 間 健 康 学 部 学 科 所 定 の | 年 月 日 生 | 氏 名 | 学 位 記 | 之 大 名 印 学 桜 |
| | | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする

様式 2-1

(修士課程を修了した場合)

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------------------------|-------------|---|--|--|---|----------------------------|--------|------------------|-------------|
| 国 研 修 第 号 | 名 桜 大 学 長 氏 名 印 | 年 月 日 | する で 修 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る | 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の | 所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の | 本 学 大 学 院 国 際 文 化 研 究 科 専 攻 の 修 士 課 程 に お い て | 之 大 名 印 学 桜 | 氏 名 | 年 月 日 生 | 学 位 記 |
| | | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 2-2

(博士前期課程を修了した場合)

| | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--------------------------------------|-------------|---|--|--|--|----------------------------|--------|------------------|-------------|
| 看 研 修 第 号 | 名 桜 大 学 長 氏 名 印 | 年 月 日 | する で 修 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る | 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の | 所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の | 本 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 専 攻 の 博 士 前 期 課 程 に お い て | 之 大 名 印 学 桜 | 氏 名 | 年 月 日 生 | 学 位 記 |
| | | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 2 - 3

(修士課程を修了した場合)

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------------|---------------------------------|---|--------|---|--|--|--|---|----------------------------|--------|------------------|-------------|
| ス 研 修 第 号 | 年 月 日 | 名 桜 大 学 長 氏 名 | 印 | す る | で 修 士 （ ） の 学 位 を 授 与 | 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の | 所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の | 本 学 大 学 院 ス ポ ー ツ 健 康 科 学 研 究 科 | 専 攻 の 修 士 課 程 に お い て | 之 大 名 印 学 桜 | 氏 名 | 年 月 日 生 | 学 位 記 |
| | | | | | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 3 - 1

(博士後期課程を修了した場合)

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|-------------|---------------------------------|---|--------|---|--|--|--|---|----------------------------|--------|------------------|-------------|
| 国 研 博 第 号 | 年 月 日 | 名 桜 大 学 長 氏 名 | 印 | す る | で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 | 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の | 所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の | 本 学 大 学 院 国 際 文 化 研 究 科 | 専 攻 の 博 士 後 期 課 程 に お い て | 之 大 名 印 学 桜 | 氏 名 | 年 月 日 生 | 学 位 記 |
| | | | | | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

様式 3 - 2

(博士後期課程を修了した場合)

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|--|--------|---|---|---|---|----------------------------|--------|---|---|---|---|-------------|
| 看 研 博 第 号 | 名 桜 大 学 長 氏 名 印 | 年 | 月 | 日 | す る で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る | 本 学 大 学 院 看 護 学 研 究 科 専 攻 の 博 士 後 期 課 程 に お い て 所 定 の 単 位 を 修 得 し 学 位 論 文 の 審 査 及 び 最 終 試 験 に 合 格 し た の で 博 士 （ ） の 学 位 を 授 与 す る | 之 大 名 印 学 桜 | 氏 名 | 年 | 月 | 日 | 生 | 学 位 記 |
| | | 名 印 | 年 | 月 | | | | | | | | | |

用紙の大きさは、日本工業規格 A4 とする。

名桜大学国際学部履修規程

(令和5年4月1日制定)

(趣旨)

第1条 この規程は、名桜大学学則（平成6年4月1日制定）第13条及び第32条の規定に基づき、授業科目の名称、単位数等卒業に必要な単位数その他授業科目の履修に関し必要な事項を定めるものとする。

(履修コース)

第2条 学部の学科に次のとおり履修コースを設ける。

| 学 部 | 学 科 | 履修コース |
|------|----------|--------------------------------------|
| 国際学部 | 国際文化学科 | 国際文化コース 英語・英語文学コース 日本語・日本文学コース |
| | 国際観光産業学科 | 観光政策コース 観光経営コース 観光文化・環境コース |

(授業科目の名称、単位数等)

第3条 開設する授業科目の名称、単位数等は、次のとおりとする。

- (1) 【国際学部】 教養教育科目（共通コア科目／共通選択科目） 別表1
- (2) 【国際学部国際文化学科】 専門教育科目（専門基礎科目／専門発展・応用科目／演習科目） 別表2
- (3) 【国際学部国際観光産業学科】 専門教育科目（専門基礎科目／専門発展・応用科目／演習科目） 別表3
- (4) 【国際学部】 外国人留学生対象科目（外国語教育科目） 別表4
- (5) 【国際学部】 3年次進級の履修要件を示す科目 別表5
- (6) 【国際学部】 副専攻の履修要件を示す科目 別表6-1、6-2
- (7) 【国際学部国際文化学科】 日本語教師養成課程の履修要件を示す科目 別表7
- (8) 【国際学部国際観光産業学科】 観光実務士課程の履修要件を示す科目 別表8
- (9) 【全学共通科目】 各教科の指導法及び教職に関する科目（全学共通科目） 別表9

2 学則第35条3の教育免許状授与の所要資格に必要な授業科目の種類、単位数及び必修又は選択の別は、別表10のとおりとする。

(卒業に必要な単位数)

第4条 卒業に必要な単位数は、別表11のとおりとする。

(登録)

第5条 学生は、履修しようとする授業科目の登録を行わなければならない。

2 一個学期で登録できる単位数は、20単位を上限とする。ただし、履修科目登録実施要項に示された授業科目については、20単位を超えて登録ができるもの

とする。

- 3 授業科目の登録方法及び登録調整期間については、年度又は学期毎に策定する履修科目登録実施要項に定める。

(学期末試験)

第6条 学期末試験は、期間を定めて行う。試験科目、時間等については、試験開始日の1週間前に公示する。

- 2 前項の規定にかかわらず、授業科目の担当教員は、必要に応じて試験を行うことができる。

(追試験)

第7条 追試験は、学期末試験時の受験資格を有しながら、次のやむを得ない理由により受験できなかった者について願出により試験を行うことがある。

- (1) 病気で受験できなかった場合(ただし、医師の診断書が必要)
 - (2) 2親等以内の親族の死亡による忌引きの場合(ただし、往復の日時を含め最短日数とする。)
 - (3) 公共交通機関が運休又は遅延した場合(ただし、遅延の場合は、当局の発行した遅延証明書が必要)
 - (4) 大学が認めた就職試験を受験した場合(ただし、証明書が必要)
 - (5) 大学が認めた遠征試合等に参加した場合
 - (6) その他全学教務委員長が必要と認めた場合
- 2 前項の規定により追試験を受験する場合は、事前又は理由発生当日を含めて直ちに証明書等を添付し、全学教務委員長の認印を得て追試験許可願(様式第1号)を教務課に提出しなければならない。
- 3 追試の許可は、全学教務委員長が行う。
- 4 全学教務委員長が許可を行った場合は、担当教員及び学生に通知する。

(再試験)

第8条 再試験は、卒業見込み者で学期末の成績評価において不合格になった科目(2科目以内)について再試験を実施する。ただし、再試験を希望する者は、その授業科目の担当教員の認印を得て再試験許可願(様式第2号)を教務課に提出しなければならない。

- 2 再試験の日程については、3月卒業予定者又は9月卒業予定者にその都度通知する。
- 3 再試験の評価は、80点以上を与えることはできない。
- 4 再試験を受ける者は、受験料(1科目4,000円)を納入しなければならない。

(単位の授与)

第9条 登録した授業科目については、試験その他の成績、学習状況及び出席状況により成績を評価し、合格した科目については、単位を授与する。

(成績評価の基準)

第10条 成績の評価は、秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79

～70点)、可(69～60点)及び不可(59点以下)とする。

(進級)

第11条 進級は、科目の履修、単位の修得及び在学期間、国際学部が定める要件を満たした者に対して、学年を一つ上げる制度を指し、1年次から始まり、最終学年を4年次とする。

(進級の要件)

第12条 学生の進級に関する要件を次の各号に掲げる。

(1) 2年次への進級は、入学後通算2セメスタを超過する在学期間をもってこれを認める。

(2) 3年次への進級は、入学後通算4セメスタを超過する在学期間及び60単位以上の単位修得、かつ別表5に掲げる特定の科目の単位修得をもってこれを認める。ただし、進級の時期は年度の始め(4月)とする。

(3) 4年次への進級は、入学後通算6セメスタを超過(3年次編入学生の場合は、編入学後通算2セメスタを超過)する在学期間及び所属する学科の専門演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの単位修得をもってこれを認める。

2 3年次編入学生のうち、3年次への進級要件を満たしていない者は、前項第2号の規定に準じ、編入学後1年以内の学修において、当該学年への進級要件を満たさなくてはならない。満たさない場合は、4年次への進級を認めない。

3 修得単位が60単位未満の海外派遣留学生及び国内派遣留学生の3年次への進級は、第1項第2号の規定とは別に、国際学部教務委員会の議を経て、国際学部長がこれを認めることができる。

(改廃)

第13条 この規程の改廃は、国際学部教授会の議を経て学長が行う。

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。ただし、令和5年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者には、名桜大学国際学群履修規程を適用する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する。ただし、令和5年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者には、名桜大学国際学群履修規程を適用する。

附 則

この規程は、令和7年4月1日から施行する。ただし、令和5年3月31日

以前に入学し、引き続き在学する者には、名桜大学国際学群履修規程を適用する。

附 則

この規程は、令和8年4月1日から施行する。ただし、令和5年3月31日以前に入学し、引き続き在学する者には、名桜大学国際学群履修規程を適用する。

【別表1】【国際学部】教養教育科目（共通コア科目／共通選択科目）（第3条関係）

共通コア科目

凡例（●必修、◎選択必修、○選択）

| 区分 | 科目 ナンバリ ング | 科目名 | 受 講 年 次 | 単位数 | | | 履修コース | | | | | 履修前提 科目等 |
|--|--|--------------------------------|------------------|--------|--------|--------|------------------|---------------------------------|--------------------------------------|------------------|------------------|-------------|
| | | | | 必 修 | 選 択 | 自 由 | 国 際 文 化 | 英 語 ・ 英 語 文 学 | 日 本 語 ・ 日 本 文 学 | 観 光 政 策 | 観 光 経 営 | |
| アカ デ ミ ク ス キ ル 科 目 | LBRL101 | 教 養 演 習 I | 1 | 2 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | LBRL102 | 教 養 演 習 II | 1 | 2 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | LBRL103 | グ ロー バ ル 教 養 演 習 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL104 | コ ン プ ュ ー タ ・ リ テ ラ シ ー | 1 | | 2 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | LBRL105 | 数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス ・ AI 入 門 | 1 | | 2 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | LBRL144 | 数 理 ・ デ ー タ サ イ エ ン ス ・ AI 応 用 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL106 | ア カ デ ミ ッ ク ラ イ テ ィ ン グ I | 1 | 2 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | LBRL107 | ア カ デ ミ ッ ク ラ イ テ ィ ン グ II | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL108 | ア カ デ ミ ッ ク ス キ ル 特 別 講 義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 備 考 | ・ 必修科目を含め、コンピュータ・リテラシーまたは数理・データサイエンス・AI 入門のいずれかを履修し、8単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | | |
| ラ イ フ デ ザ イ ン 科 目 | LBRL109 | 大 学 と 人 生 | 1 | 2 | | ● | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | LBRL110 | ラ イ フ デ ザ イ ン 特 別 講 義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL201 | キ ャ リ ア デ ザ イ ン | 2 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL202 | プ ロ ジ ェ ク ト 学 習 | 2 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 備 考 | ・ 必修科目を含む、2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | |
| 思 想 と 論 理 科 目 | LBRL111 | 人 間 と 環 境 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL112 | 生 命 と 倫 理 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL113 | 科 学 入 門 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL114 | 論 理 学 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL115 | 現 代 思 想 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL116 | 思 想 と 論 理 特 別 講 義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 備 考 | ・ 2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | |
| 沖 縄 理 解 科 目 | LBRL117 | 沖 縄 学 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL118 | 沖 縄 の 自 然 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL119 | 沖 縄 の 言 語 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL120 | 沖 縄 理 解 特 別 講 義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 備 考 | ・ 2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | |
| 健 康 ス ポ ー ツ 科 目 | LBRL121 | 体 育 実 技 I | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL122 | 体 育 実 技 II | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL123 | 健 康 ・ ス ポ ー ツ 科 学 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL124 | 健 康 ス ポ ー ツ 特 別 講 義 | 1 | | 2 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL125 | 健 康 ス ポ ー ツ 特 別 実 技 | 1 | | 1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 備 考 | ・ 2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | |

共通選択科目

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | | | 履修前提科目等 |
|--------|---------|---|------|-----|----|----|-------|---------|----------|------|------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | 観光政策 | 観光経営 | |
| 外国語科目 | LBRL145 | ベーシック・イングリッシュⅠ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL146 | ベーシック・イングリッシュⅡ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL147 | ベーシック・イングリッシュⅢ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL148 | イングリッシュ・コミュニケーションⅠ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL149 | イングリッシュ・コミュニケーションⅡ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL150 | イングリッシュ・コミュニケーションⅢ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL128 | ドイツ語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL129 | ドイツ語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ドイツ語Ⅰ |
| | LBRL130 | フランス語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL131 | フランス語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | フランス語Ⅰ |
| | LBRL132 | スペイン語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL133 | スペイン語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | スペイン語Ⅰ |
| | LBRL134 | ポルトガル語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL135 | ポルトガル語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ポルトガル語Ⅰ |
| | LBRL136 | 中国語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL137 | 中国語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 中国語Ⅰ |
| | LBRL138 | 韓国語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL139 | 韓国語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 韓国語Ⅰ |
| | LBRL140 | タイ語Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL141 | タイ語Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | タイ語Ⅰ |
| | LBRL142 | 外国語特別講義Ⅰ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL143 | 外国語特別講義Ⅱ | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL203 | アカデミック英語基礎 | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | ● | ● | |
| | LBRL204 | プラクティカル・イングリッシュⅠ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL205 | プラクティカル・イングリッシュⅡ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL206 | ビジネス英語Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL207 | ビジネス英語Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 備考 | | <ul style="list-style-type: none"> ・必修科目を含む10単位以上修得すること。 ・国際文化学科の学生は、必修科目6単位の他に、英語以外の外国語（同言語の外国語科目4単位）を履修しなければならない。 ・国際観光産業学科の学生は、必修科目6単位の他に、同言語（英語を含む）の外国語科目4単位を修得しなければならない。 ・英語圏内からの正規留学生については、ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーションを履修することができないため、外国人留学生対象科目から4単位履修すること。 ・英語圏外からの正規留学生は、ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーションに代わり外国人留学生対象科目から4単位修得することも可能である。 ・正規留学生は、英語（ベーシック・イングリッシュ、イングリッシュ・コミュニケーション）及び日本語以外の外国語科目のうち4単位は、母語を除いた同一言語（例：ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱ）で履修する必要がある。 ・ベーシック・イングリッシュⅠ・Ⅱ・Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 | | | | | | | | | | |
| 国際理解科目 | LBRL144 | 国際学入門 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL145 | 異文化接触論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL146 | 国際社会と日本 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL147 | 人権と平和 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL148 | 国際コミュニケーション論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | | | | 履修前提科目等 |
|--------|---------------|---------------|------|-----|----|----|-------|---------|----------|------|------|---------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | 観光政策 | 観光経営 | 観光文化・環境 | |
| | LBRL149 | 海外スタディツアー | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL150 | 国際理解特別講義 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | ・4単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | | |
| 人文科学科目 | LBRL151 | 音楽の歴史と鑑賞 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL152 | 美術の歴史と鑑賞 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL153 | 哲学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL154 | 心理学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL155 | 歴史学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL156 | 教育学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL157 | ヒューマンケアリング | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 人文科学科目 | LBRL158 | 文学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL159 | 人文科学特別講義 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | ・4単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | | |
| 社会科学科目 | LBRL160 | 法学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL161 | 憲法 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL162 | 政治学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL163 | 経済学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL164 | 経営学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL165 | 社会学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL166 | 人文地理学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○ | |
| | LBRL167 | 社会科学特別講義 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 備考 | ・4単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | | | |
| 自然科学科目 | LBRL168 | 数学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL169 | 統計学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL170 | 物理学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL171 | 化学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL172 | 生物学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL173 | 地学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL174 | 情報科学と社会 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| | LBRL175 | 自然科学特別講義 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 備考 | ・4単位以上修得すること。 | | | | | | | | | | | | |

【別表2】【国際学部国際文化学科】専門教育科目（専門基礎科目／専門発展・応用科目／演習科目）（第3条関係）

専門基礎科目（国際文化学科）

凡例（●必修、◎選択必修、○選択）

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|---------|---|---|------|-----|----|----|-------|---------|----------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | |
| 人文科学系科目 | CLUT101 | 日本語理解論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT102 | 日本史概論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT201 | 日本文化概論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT202 | 文化人類学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT203 | 人間関係論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT204 | 日本語表現論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT103 | 世界史概論 | 1 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT104 | 比較芸術論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT105 | 比較宗教論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT106 | 初級英作文 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT107 | 中級英語オーラルコミュニケーション | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT108 | 中級英作文 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT109 | 英文文法 | 1 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT110 | 漢文学概論 I | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT111 | 言語と文学 | 1 | | 2 | | ○ | ◎ | ◎ | |
| CLUT205 | 比較思想論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む10単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：選択必修科目4単位を含む10単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：選択必修科目4単位を含む10単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 社会科学系科目 | CLUT112 | 経営統計学 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT113 | 観光学概論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT114 | 地域研究方法論 | 1 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT115 | 社会調査法 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT206 | 経営情報論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT207 | 地域社会論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT208 | 社会心理学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT209 | 経済学総論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT210 | 倫理学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。 | | | | | | | | |
| 自然科学系科目 | CLUT116 | コンピュータ概論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 情報科学と社会 |
| | CLUT211 | 情報処理論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT212 | 情報化社会論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT213 | 自然保護論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT214 | 沖縄の天然記念物 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT215 | 島嶼環境論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT216 | 情報と職業 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：2単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門基礎科目は、14単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |

専門発展・応用科目 (国際文化学科)

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|------------|---|-----------|------|-----|----|----|-------|---------|----------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | |
| 地域文化系科目 | CLUT217 | 沖縄の社会 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT218 | 沖縄の社会と教育 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT219 | 沖縄地域文化論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | CLUT220 | 沖縄の地域史 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT221 | 日本の歴史Ⅰ | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | CLUT222 | 日本の歴史Ⅱ | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | CLUT301 | 日本史史料講読 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT223 | 日本の社会 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | CLUT224 | 日本の宗教 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT225 | 地誌学 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT226 | 自然地理学概論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む12単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：選択必修科目4単位を含む6単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 国際文化系科目 | CLUT227 | アジアの歴史 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT228 | アジアの文化 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT302 | アジアの文学 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT303 | アジアの言語 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT229 | アジアの宗教 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT304 | アジアの政治と社会 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT230 | 中南米の歴史 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT231 | 中南米の文化 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT305 | 中南米の社会 | 3 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT306 | 中南米の文学 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT307 | 中南米の言語 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT308 | 移民と異文化 | 3 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT232 | 比較映像文化論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT233 | 世界の歴史 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む14単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 国際学系科目 | CLUT234 | 国際関係論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT235 | 国際政治論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT309 | 国際機構論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT310 | 国際法 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT236 | アメリカ政治外交論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | CLUT237 | 日米関係論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：選択必修科目4単位を含む6単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 英語・英語文学系科目 | CLUT238 | 英語音声学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT239 | 言語学概論Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT240 | 言語学概論Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT311 | 理論言語学講読 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT312 | 応用言語学講読 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT313 | 英語学概論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|-------------|---------|---|---|-----|----|----|-------|---------|----------|-------------------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | |
| 英語・英語文学系科目 | CLUT314 | 小学校英語教育教授論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT241 | 準高等英語リスニング | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT242 | 高等英語リスニング | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 準高等英語リスニング |
| | CLUT243 | 準高等オーラル・コミュニケーション | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT244 | 高等英語オーラル・コミュニケーション | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 準高等オーラル・コミュニケーション |
| | CLUT245 | 準高等英語講読 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT246 | 高等英語講読 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 準高等英語講読 |
| | CLUT247 | 準高等英作文 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT248 | 高等英作文 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 準高等英作文 |
| | CLUT249 | 英米文化概論Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT250 | 英米文化概論Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT315 | 英語リサーチ・ライティング | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT251 | イギリス文学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT316 | アメリカ文学 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT317 | 英語文学講読 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | CLUT318 | 外書講読 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT319 | ディベート | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT320 | 通訳技法 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT321 | 異文化コミュニケーション論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：2単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：理論言語学講読、応用言語学講読、英語文学講読のいずれか2単位を選択し、準高等英語系科目8単位の選択必修科目10単位を含む32単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：2単位以上修得すること。 | | | | | | | |
| 日本語・日本文学系科目 | CLUT252 | 日本語学概論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT253 | 日本語史 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT322 | 琉球語学論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT323 | 現代日本語論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT324 | 日本語教授法 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT254 | 日本古典文学概論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT255 | 日本古典文学史Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT256 | 日本古典文学史Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT325 | 日本古典文学論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT257 | 日本近代文学概論Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT258 | 日本近代文学概論Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT259 | 日本近代文学史 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT326 | 日本近代文学論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT260 | 琉球文学概論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT261 | 沖縄の文学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT262 | 漢文学概論Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | CLUT327 | 書写・書道概論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際文化コース：2単位以上修得すること。 ・英語・英語文学コース：2単位以上修得すること。 ・日本語・日本文学コース：選択必修科目の中から24単位以上修得すること。 | | | | | | | | |
| 実践科 | CLUT263 | 地域文化演習 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT264 | 現地実習 | 2 | | 4 | | ○ | ○ | ○ | 地域文化演習 |
| | CLUT328 | 教育支援演習 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|------|---------|---|------|-----|----|----|-------|---------|----------|--------------------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | |
| | CLUT329 | 教育支援実習 | 3 | | 4 | | ○ | ○ | ○ | 教育支援演習 |
| 実践科目 | CLUT330 | 日本語教育実践演習 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 【別表7】日本語教師養成課程を参照。 |
| | 備考 | ・これらの演習・実習は、国際文化コース、英語・英語文学コース、日本語・日本文学コースの学生が修得することができる。 | | | | | | | | |
| 特別講義 | CLUT117 | 国際学部特別講義 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT265 | 国際文化特別講義Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT266 | 国際文化特別講義Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT267 | 国際文化特別講義Ⅲ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | CLUT268 | 国際文化特別講義Ⅳ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | ・これらの特別講義は、国際文化コース、英語・英語文学コース、日本語・日本文学コースの学生が修得することができる。 | | | | | | | | |
| | 備考 | ・専門発展・応用科目は、40単位以上修得すること。 | | | | | | | | |

演習科目（国際文化学科）

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|------|---------|-------------------|------|-----|----|----|-------|---------|----------|-----------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 国際文化 | 英語・英語文学 | 日本語・日本文学 | |
| 演習科目 | CLUT269 | 国際文化基礎演習 | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | CLUT270 | 国際文化専門演習Ⅰ | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | CLUT331 | 国際文化専門演習Ⅱ | 3 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際文化専門演習Ⅰ |
| | CLUT332 | 国際文化専門演習Ⅲ | 3 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際文化専門演習Ⅱ |
| | CLUT401 | 国際文化専門演習Ⅳ | 4 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際文化専門演習Ⅲ |
| | CLUT402 | 国際文化専門演習Ⅴ | 4 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際文化専門演習Ⅳ |
| | 備考 | ・必修科目12単位を修得すること。 | | | | | | | | |

【別表3】【国際学部国際観光産業学科】専門教育科目（専門基礎科目／専門発展・応用科目／演習科目）（第3条関係）

専門基礎科目（国際観光産業学科）

凡例（●必修、◎選択必修、○選択）

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|---------|--|----------|------|-----|----|----|-------|------|---------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 観光政策 | 観光経営 | 観光文化・環境 | |
| 人文科学系科目 | TOUR101 | 日本語理解論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR102 | 日本史概論 | 1 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR201 | 日本文化概論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR202 | 文化人類学 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR203 | 人間関係論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR204 | 日本語表現論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR103 | 世界史概論 | 1 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・観光経営コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 社会科学系科目 | TOUR104 | 経営統計学 | 1 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR105 | 観光学概論 | 1 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR106 | 観光学総論 | 1 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR107 | 地域研究方法論 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR205 | 社会調査法 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR206 | 経営情報論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR207 | 地域社会論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR208 | 倫理学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR108 | 経営学総論 | 1 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR109 | 簿記原理 | 1 | | 4 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR110 | ミクロ経済学 | 1 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR111 | 民法と市民生活 | 1 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR112 | マクロ経済学 | 1 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR113 | 経済学総論 | 1 | | 2 | | ◎ | ◎ | ○ | |
| TOUR209 | 社会心理学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む10単位以上修得すること。 ・観光経営コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む10単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む10単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 自然科学系科目 | TOUR114 | コンピュータ概論 | 1 | | 2 | | ◎ | ◎ | ○ | 情報科学と社会 |
| | TOUR210 | 情報処理論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR211 | 情報化社会論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR212 | 自然保護論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR213 | 沖縄の天然記念物 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR214 | 島嶼環境論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR215 | 情報と職業 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・観光経営コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：選択必修科目を含む2単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門基礎科目は、必修科目を含む14単位以上を修得すること。 | | | | | | | | | |

専門発展・応用科目 (国際観光産業学科)

凡例 (●必修、◎選択必修、○選択)

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|---------|------------|---|------|-----|----|----|-------|------|----------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 観光政策 | 観光経営 | 観光文化・環境 | |
| 観光地形成科目 | TOUR216 | 観光事業論 | 2 | | 2 | | ◎ | ◎ | ◎ | |
| | TOUR217 | 観光開発論Ⅰ | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR301 | 観光開発論Ⅱ | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR302 | 観光政策論 | 3 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR218 | 西欧経済史 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR303 | 地域経済学 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR304 | 観光経済学 | 3 | | 2 | | ◎ | ◎ | ○ | |
| | TOUR219 | 地誌学 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR220 | 観光地理学 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR305 | 観光資源論 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ◎ | |
| | TOUR221 | 自然地理学概論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR222 | 観光行動論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR306 | 観光心理学 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR223 | イベント事業論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR307 | 国際コンベンションビジネス | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR224 | 観光関連法規 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR225 | 観光調査法 | 2 | | 4 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR308 | ホスピタリティマーケティング論 | 3 | | 4 | | ◎ | ◎ | ○ | |
| | TOUR226 | 観光交通論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR309 | 沖縄観光 | 3 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR115 | レジャー・レクリエーション論 | 1 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR227 | 行政法 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR228 | 財政学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR229 | 国際経済論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| TOUR230 | 地方自治論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | | |
| TOUR231 | 市場調査論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| TOUR310 | 経済政策 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | | |
| TOUR311 | 地域マーケティング論 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ◎ | マーケティング論 | |
| TOUR232 | 日本の歴史Ⅰ | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | | |
| TOUR233 | 日本の歴史Ⅱ | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ○ | | |
| TOUR234 | 世界の歴史 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 備考 | | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：必修科目、観光事業論及び観光地理学の4単位に加えて、選択必修科目の中から8単位を含む22単位以上修得すること。 ・観光経営コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む12単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む10単位以上修得すること。 | | | | | | | | |
| 観光経営科目 | TOUR235 | 観光産業論 | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR312 | 交通産業論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR236 | ホスピタリティ概論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR313 | ホテル経営論 | 3 | | 2 | | ◎ | ◎ | ○ | |
| | TOUR314 | ホテル計画論 | 3 | | 4 | | ◎ | ○ | ○ | |
| | TOUR237 | 旅行業経営論 | 2 | | 4 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR238 | 旅行業法と約款 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | 旅行業経営論 |
| | TOUR315 | ホスピタリティマネジメント論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR116 | 上級簿記 | 1 | | 4 | | ○ | ◎ | ○ | 簿記原理 |
| | TOUR239 | 会社法 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| TOUR240 | 流通論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | | |

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|-----------|--|---------------|------|-----|----|----|-------|------|---------|-----------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 観光政策 | 観光経営 | 観光文化・環境 | |
| 観光経営科目 | TOUR241 | マーケティング論 | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR316 | 中小企業論 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ◎ | |
| | TOUR242 | 原価計算 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR243 | 経営組織論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR244 | 経営戦略論 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR245 | 会計学原理 | 2 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR317 | ベンチャービジネス | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ◎ | |
| | TOUR246 | 経営管理論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR247 | 問題解決の心理学 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR318 | 人的資源管理論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR401 | グローバル・ビジネス論 | 4 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR319 | 産業情報論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR338 | 経営分析論 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | 簿記原理 |
| | TOUR320 | 組織心理学 | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | |
| | TOUR321 | 対人コミュニケーション論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR322 | チームマネジメントの心理学 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR323 | 職業指導Ⅰ | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | ※教職科目 |
| TOUR324 | 職業指導Ⅱ | 3 | | 2 | | ○ | ◎ | ○ | (商業) | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む6単位以上修得すること。 ・観光経営コース：必修科目に加え、選択必修科目の中から12単位を含む24単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：必修科目に加え、選択必修科目を含む6単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 観光文化・環境科目 | TOUR325 | 健康と長寿 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR326 | 余暇社会学 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR117 | 地球の環境とその保全 | 1 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR248 | エコツアーリズムⅠ | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR327 | エコツアーリズムⅡ | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR328 | 自然観察指導法 | 3 | | 4 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR329 | 環境アセスメント論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR330 | 観光環境論 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR249 | 環境調査法 | 2 | | 4 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR250 | 観光文化論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR251 | 沖縄の植物と保護 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR252 | 島嶼文化論 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR118 | 比較宗教論 | 1 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR331 | 日本史史料講読 | 3 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| TOUR253 | 日本の宗教 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：選択必修科目4単位を含む8単位以上修得すること。 ・観光経営コース：選択科目の中から2単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：選択必修科目の中から20単位以上修得すること。 | | | | | | | | | |
| 国際観光科目 | TOUR254 | 国際観光論 | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR255 | 観光実用中国語 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | 中国語Ⅰ、中国語Ⅱ |
| | TOUR256 | 観光実用韓国語 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | 韓国語Ⅰ、韓国語Ⅱ |
| | TOUR257 | 観光実用英語Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ◎ | |
| | TOUR258 | 観光実用英語Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR259 | アジアの歴史 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR260 | 中南米の歴史 | 2 | | 2 | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | TOUR332 | 外書講読 | 3 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|--------|---|---|------|-----|----|----|-------|------|---------|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 観光政策 | 観光経営 | 観光文化・環境 | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策コース：必修科目を含む4単位以上修得すること。 ・観光経営コース：必修科目を含む2単位以上修得すること。 ・観光文化・環境コース：必修科目を含む4単位以上修得すること。 | | | | | | | | |
| 実践科目 | TOUR270 | インターンシップ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR271 | グローバルキャリアデザインⅠ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR335 | グローバルキャリアデザインⅡ (海外インターンシップ) | 3 | | 4 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR336 | ホテル実務 | 3 | | 6 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR337 | 観光関連実務 | 3 | | 6 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・これらの実践科目は、進級要件を満たした観光政策コース、観光経営コース、観光文化・環境コースの学生が履修することができる。 | | | | | | | | |
| 観光関連科目 | TOUR119 | スクーバダイビング | 1 | | 1 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR261 | ウェルネス概論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR262 | スポーツ産業論 | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR120 | ゴルフⅠ | 1 | | 1 | | ○ | ○ | ○ | ゴルフⅠ |
| | TOUR121 | ゴルフⅡ | 1 | | 1 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR263 | 空手 | 2 | | 1 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR122 | 救急処置 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・これらの観光関連科目は、観光政策コース、観光経営コース、観光文化・環境コースの学生が履修することができる。 | | | | | | | | |
| 特別講義 | TOUR123 | 国際学部特別講義 | 1 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR264 | 国際観光産業特別講義Ⅰ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR265 | 国際観光産業特別講義Ⅱ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR266 | 国際観光産業特別講義Ⅲ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | TOUR267 | 国際観光産業特別講義Ⅳ | 2 | | 2 | | ○ | ○ | ○ | |
| | 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・これらの特別講義は、観光政策コース、観光経営コース、観光文化・環境コースの学生が履修することができる。 | | | | | | | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・専門発展・応用科目は、必修科目を含む40単位以上を修得すること。 | | | | | | | | | |

演習科目（国際観光産業学科）

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修コース | | | 履修前提科目等 |
|------|---------|-------------------|------|-----|----|----|-------|------|---------|-------------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | 観光政策 | 観光経営 | 観光文化・環境 | |
| 演習科目 | TOUR268 | 国際観光産業基礎演習 | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | |
| | TOUR269 | 国際観光産業専門演習Ⅰ | 2 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際観光産業基礎演習 |
| | TOUR338 | 国際観光産業専門演習Ⅱ | 3 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際観光産業専門演習Ⅰ |
| | TOUR339 | 国際観光産業専門演習Ⅲ | 3 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際観光産業専門演習Ⅱ |
| | TOUR403 | 国際観光産業専門演習Ⅳ | 4 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際観光産業専門演習Ⅲ |
| | TOUR404 | 国際観光産業専門演習Ⅴ | 4 | 2 | | | ● | ● | ● | 国際観光産業専門演習Ⅳ |
| | 備考 | ・必修科目12単位を修得すること。 | | | | | | | | |

【別表4】外国人留学生対象科目（外国語教育科目）（第3条関係）

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修前提科目等 |
|------------|---|---------------------|------|-----|----|----|---------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 外国人留学生対象科目 | JPAN001 | 日本語 I - 1 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN002 | 日本語 I - 2 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN003 | 日本語 I - 3 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN004 | 日本語 I - 4 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN005 | 日本語 II - 1 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN006 | 日本語 II - 2 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN007 | 日本語 II - 3 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN008 | 日本語 II - 4 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN009 | 日本語 III - 1 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN010 | 日本語 III - 2 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN011 | 日本語 III - 3 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN012 | 日本語 III - 4 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN013 | 日本語 IV - 1 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN014 | 日本語 IV - 2 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN015 | 日本語 IV - 3 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN016 | 日本語 IV - 4 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN017 | 留学生のためのアカデミックライティング | 1 | | 2 | | |
| | JPAN018 | 日本語演習 | 1 | | 2 | | |
| | JPAN019 | 日本事情 I | 1 | | 2 | | |
| | JPAN020 | 日本事情 II | 1 | | 2 | | |
| | JPAN021 | 日本語実践運用 | 1 | | 2 | | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・外国人留学生対象科目（外国人留学生のみ） ・正規留学生は、「日本語 I」の4科目及び「日本語 II」の4科目を履修することはできない。 | | | | | | |

【別表5】【国際学部】3年次進級の履修要件を示す科目（第3条、第12条関係）
教養教育科目

| 区分 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 進級要件 |
|-----------------|---------------------------------|------|-----|----|----|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 共通コア科目 | アカデミックスキル科目 教養演習Ⅰ | 1 | 2 | | | 必修科目を含め、14単位修得すること。 ・ベーシック・イングリッシュⅠ・Ⅱ・Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | 教養演習Ⅱ | 1 | 2 | | | |
| | コンピュータ・リテラシー | 1 | | 2 | | |
| | 数理・データサイエンス・AI 入門 | 1 | | 2 | | |
| | アカデミックライティングⅠ | 1 | 2 | | | |
| デザイン科目 大学と人生 | 1 | 2 | | | | |
| 共通選択科目 | 外国語 ベーシック・イングリッシュ（Ⅰ / Ⅱ / Ⅲ） | 1 | 2 | | | |
| | イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ / Ⅱ / Ⅲ） | 1 | 2 | | | |

専門教育科目（演習科目）

| 区分 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 進級要件 |
|------|-------------|------|-----|----|----|---------------------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 演習科目 | 国際文化基礎演習 | 2 | 2 | | | 4単位以上修得すること。 ※卒業要件を必ず確認すること。 |
| | 国際文化専門演習Ⅰ | 2 | 2 | | | |
| | 国際観光産業基礎演習 | 2 | 2 | | | |
| | 国際観光産業専門演習Ⅰ | 2 | 2 | | | |

【別表6-1】【国際学部】名桜大学副専攻（地域マネジメント）（第3条関係）
国際文化学科

| 区分 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修条件 |
|-----------|-------------|----------|-----|----|----|-----------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 共通コア科目 | アカデミックスキル | 教養演習Ⅰ | 1 | 2 | | 必修科目を含め、10単位以上修得すること。 |
| | | 教養演習Ⅱ | 1 | 2 | | |
| | ライフデザイン | 大学と人 | 1 | 2 | | |
| | | プロジェクト学習 | 2 | 2 | | |
| | 沖縄理解 | 沖縄学 | 1 | | 2 | |
| | | 沖縄の自然 | 1 | | 2 | |
| 沖縄の言語 | | 1 | | 2 | | |
| | 沖縄理解特別講義 | 1 | | 2 | | |
| 科目 専門基礎 | 社会科学系科目 | 観光学概論 | 1 | | 2 | 16単位以上修得すること。 |
| | | 地域研究方法論 | 1 | | 2 | |
| | 自然科学系科目 | 沖縄の天然記念物 | 2 | | 2 | |
| | | 島嶼環境論 | 2 | | 2 | |
| 専門発展・応用科目 | 地域文化系科目 | 沖縄の社会 | 2 | | 2 | 16単位以上修得すること。 |
| | | 沖縄の社会と教育 | 2 | | 2 | |
| | | 沖縄地域文化論 | 2 | | 2 | |
| | | 沖縄の地域史 | 2 | | 2 | |
| | 国際文化系科目 | 移民と異文化 | 3 | | 2 | |
| | 日本語・日本文学系科目 | 琉球語学論 | 3 | | 2 | |
| | | 南島歌謡 | 2 | | 2 | |
| | | 沖縄の文学 | 2 | | 2 | |
| | 実践科目 | 地域文化演習 | 2 | | 2 | |
| | | 現地実習 | 2 | | 4 | |
| | 特別講義 | 国際学部特別講義 | 1 | | 2 | |

国際観光産業学科

| 区分 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修条件 |
|-----------|------------|----------------|-----|----|----|-----------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 共通コア科目 | アカデミックスキル | 教養演習Ⅰ | 1 | 2 | | 必修科目を含め、10単位以上修得すること。 |
| | | 教養演習Ⅱ | 1 | 2 | | |
| | ライフデザイン | 大学と人 | 1 | 2 | | |
| | | プロジェクト学習 | 2 | 2 | | |
| | 沖縄理解 | 沖縄学 | 1 | | 2 | |
| | | 沖縄の自然 | 1 | | 2 | |
| 沖縄の言語 | | 1 | | 2 | | |
| | 沖縄理解特別講義 | 1 | | 2 | | |
| 科目 専門基礎科目 | 社会科学系科目 | 観光学概論 | 1 | | 2 | 16単位以上修得すること。 |
| | | 観光学総論 | 1 | | 2 | |
| | 自然科学系科目 | 地域研究方法論 | 1 | | 2 | |
| | | 沖縄の天然記念物 | 2 | | 2 | |
| 専門発展・応用科目 | 観光地形成科目 | 島嶼環境論 | 2 | | 2 | 16単位以上修得すること。 |
| | | 観光事業論 | 2 | | 2 | |
| | | 観光開発論Ⅰ | 2 | | 2 | |
| | | 観光開発論Ⅱ | 3 | | 2 | |
| | | 観光政策論 | 3 | | 2 | |
| | | 地域経済学 | 3 | | 2 | |
| | | 観光経済学 | 3 | | 2 | |
| | | 観光地理学 | 2 | | 2 | |
| | | 沖縄観光 | 3 | | 2 | |
| | | レジャー・レクリエーション論 | 1 | | 2 | |
| | 経済政策 | 3 | | 2 | | |
| | 地域マーケティング論 | 3 | | 2 | | |
| | 観光経営科目 | 観光産業論 | 2 | | 2 | |
| | | 流通論 | 2 | | 2 | |
| マーケティング論 | | 2 | | 2 | | |
| 中小企業論 | | 3 | | 2 | | |
| | 経営戦略論 | 2 | | 2 | | |
| | ベンチャービジネス | 3 | | 2 | | |

| 区分 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修条件 |
|-----------|-----------|-----------|-----|----|----|------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 専門発展・応用科目 | 観光文化・環境科目 | エコツアーリズムⅠ | 2 | | 2 | |
| | | エコツアーリズムⅡ | 3 | | 2 | |
| | | インターンシップ | 3 | | 2 | |
| | | ホテル実務 | 3 | | 6 | |
| | | 観光関連実務 | 3 | | 6 | |
| | 観光関連科目 | 空手 | 2 | | 1 | |
| | | ウェルネス概論 | 2 | | 2 | |
| | 特別講義 | 国際学部特別講義 | 1 | | 2 | |

【別表6-2】グローバル教養副専攻（第3条関係）

| | 科目名 | 受講 年次 | 単 位 数 | | | 備考 | 副専攻修了 要件 | |
|------------------|-----------|------------------|------------------------------|----|----|---------------------------------|---|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | | |
| 共通コア科目 | アカデミックスキル | グローバル教養演習 | 1 | 2 | | ※必修単位 を含め8単 位以上取得 すること | 各区分の必要 単位数を満た したうえで「グ ローバル教養 演習」を含む合 計28単位を取 得すること。 | |
| | | 教養演習Ⅰ | 1 | 2 | | | | |
| | | 教養演習Ⅱ | 1 | 2 | | | | |
| | | アカデミックライティングⅠ | 1 | 2 | | | | |
| | | アカデミックライティングⅡ | 1 | | 2 | | | |
| | | コンピュータ・リテラシー | 1 | | 2 | | | |
| | | 数理・データサイエンス・AI入門 | 1 | | 2 | | | |
| | | アカデミックスキル特別講義 | 1 | | 2 | | | |
| | 沖縄理解 | 沖縄学 | 1 | | 2 | 4単位以上 取得すること | | |
| | | 沖縄の自然 | 1 | | 2 | | | |
| | | 沖縄の言語 | 1 | | 2 | | | |
| | | 沖縄理解特別講義 | 1 | | 2 | | | |
| | 共通選択科目 | 外国語科目 | ベーシック・イングリッシュ (Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ) | 1 | 2 | | | ※必修単位 を含め10単 位以上取得 すること ・ベーシック・イ ングリッシュⅠ/Ⅱ /Ⅲのうち、 どちらか1 科目を修得 すること。 ・イングリッ シュ・コミュニケー ションⅠ/Ⅱ/Ⅲの うち、どち らか1科目 を修得する こと。 |
| | | | イングリッシュ・コミュニケーション (Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ) | 1 | 2 | | | |
| アカデミック英語基礎 | | | 2 | 2 | | | | |
| プラクティカル・イングリッシュⅠ | | | 1 | | 2 | | | |
| プラクティカル・イングリッシュⅡ | | | 1 | | 2 | | | |
| ビジネス英語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| ビジネス英語Ⅱ | | | 1 | | 2 | | | |
| ドイツ語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| ドイツ語Ⅱ | | | 1 | | 2 | | | |
| フランス語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| フランス語Ⅱ | | | 1 | | 2 | | | |
| スペイン語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| スペイン語Ⅱ | | | 1 | | 2 | | | |
| ポルトガル語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| ポルトガル語Ⅱ | | | 1 | | 2 | | | |
| 中国語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| 中国語Ⅱ | | | 1 | | 2 | | | |
| 韓国語Ⅰ | | | 1 | | 2 | | | |
| 韓国語Ⅱ | 1 | | 2 | | | | | |
| タイ語Ⅰ | 1 | | 2 | | | | | |
| タイ語Ⅱ | 1 | | 2 | | | | | |

| | | | | | |
|------|--------------|---|----|---|---|
| | 外国語特別講義 I | 1 | | 2 | |
| | 外国語特別講義 II | 1 | | 2 | |
| 国際理解 | 海外スタディツアー | 1 | ※2 | | ※必修単位を含め4単位以上取得すること ※海外スタディツアーの履修が難しい場合は、(本副専攻の認める)海外経験や外国人との交流経験を以て充てることができる。 |
| | 国際学入門 | 1 | | 2 | |
| | 異文化接触論 | 1 | | 2 | |
| | 国際社会と日本 | 1 | | 2 | |
| | 人権と平和 | 1 | | 2 | |
| | 国際コミュニケーション論 | 1 | | 2 | |
| | 国際理解特別講義 | 1 | | 2 | |

【別表 7】【国際学部国際文化学科】日本語教師養成課程（第 3 条関係）

| 科目区分 | 授業科目名 | 単位数 | | 備 考 |
|---------------------------------|--------------|-----|----|--|
| | | 必修 | 選択 | |
| 言語 (必修科目を含 め 10 単位以 上) | 日本語学概論 | 2 | | 【履修条件】 ①各区分の必要単位数を満たした上で合計 26 単位以上を修得すること。 ②成績はすべて「良」以上の科目のみを修了証取得の対象とする。 ③「日本語教育実践演習」の履修は、原則、必修科目 4 科目が「優」以上である者のみ履修を認める。 ④必修科目である 5 科目は、本学で履修した者に限る。 |
| | 日本言語史 | 2 | | |
| | 現代日本語論 | 2 | | |
| | 日本語理解論 | | 2 | |
| | 言語と文学 | | 2 | |
| | 言語学概論 I | | 2 | |
| | 言語学概論 II | | 2 | |
| 言語と教育 (必修科目を含 め 6 単位以上) | 日本語教授法 | 2 | | |
| | 日本語教育実践演習 | 2 | | |
| | 国際コミュニケーション論 | | 2 | |
| | 日本語表現論 | | 2 | |
| 社会・文化・地 域 (4 単位以上) | 沖縄学 | | 2 | |
| | 漢文学概論 I | | 2 | |
| | 日本文化概論 | | 2 | |
| | 日本の歴史 II | | 2 | |
| | 日本古典文学論 | | 2 | |
| 言語と社会 (4 単位以上) | 国際社会と日本 | | 2 | |
| | 英米文化概論 I | | 2 | |
| | 沖縄の文学 | | 2 | |
| | 国際政治論 | | 2 | |
| | 沖縄の社会 | | 2 | |
| | 日本近代文学論 | | 2 | |
| 言語と心理 (2 単位以上) | 異文化接触論 | | 2 | |
| | 社会心理学 | | 2 | |
| | 人間関係論 | | 2 | |

【別表9】各教科の指導法及び教職に関する科目(全学共通科目)(第3条関係)

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修前提科目等 |
|------------------------------------|---------|------------------|------|-----|----|----|-----------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 各教科の指導法 | TEAC313 | 国語科教育法Ⅰ | 3 | | | 4 | |
| | TEAC314 | 国語科教育法Ⅱ | 3 | | | 4 | 国語科教育法Ⅰ |
| | TEAC315 | 社会科教育法Ⅰ | 3 | | | 4 | |
| | TEAC316 | 社会科教育法Ⅱ | 3 | | | 4 | 社会科教育法Ⅱ |
| | TEAC301 | 英語科教育法Ⅰ | 3 | | | 4 | |
| | TEAC302 | 英語科教育法Ⅱ | 3 | | | 4 | 英語科教育法Ⅰ |
| | TEAC303 | 地理歴史科教育法Ⅰ | 3 | | | 2 | |
| | TEAC304 | 地理歴史科教育法Ⅱ | 3 | | | 2 | 地理歴史科教育法Ⅰ |
| | TEAC317 | 公民科教育法Ⅰ | 3 | | | 2 | |
| | TEAC318 | 公民科教育法Ⅱ | 3 | | | 2 | 公民科教育法Ⅰ |
| | TEAC305 | 商業科教育法Ⅰ | 3 | | | 2 | |
| | TEAC306 | 商業科教育法Ⅱ | 3 | | | 2 | 商業科教育法Ⅰ |
| | TEAC307 | 保健体育科教育法Ⅰ | 3 | | | 2 | |
| | TEAC308 | 保健体育科教育法Ⅱ | 3 | | | 2 | 保健体育科教育法Ⅰ |
| | TEAC309 | 保健体育科教育法Ⅲ | 3 | | | 2 | 保健体育科教育法Ⅱ |
| | TEAC310 | 保健体育科教育法Ⅳ | 3 | | | 2 | 保健体育科教育法Ⅲ |
| | TEAC311 | 情報科教育法Ⅰ | 3 | | | 2 | |
| | TEAC312 | 情報科教育法Ⅱ | 3 | | | 2 | 情報科教育法Ⅰ |
| 教育の基礎的理解に関する科目 | TEAC101 | 教育原理 | 1 | | | 2 | |
| | TEAC102 | 教職概論 | 1 | | | 2 | |
| | TEAC201 | 教育制度論 | 2 | | | 2 | |
| | TEAC202 | 教育心理学 | 2 | | | 2 | |
| | TEAC203 | 特別支援教育 | 2 | | | 2 | |
| | TEAC204 | 教育課程論 | 2 | | | 2 | |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | TEAC313 | 道徳教育の理論と方法 | 3 | | | 2 | ※中免・養護のみ |
| | TEAC205 | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | | | 2 | |
| | TEAC206 | 特別活動の指導法 | 2 | | | 2 | |
| | TEAC314 | 教育方法(ICTの活用を含む。) | 3 | | | 2 | |
| | TEAC315 | 生徒指導の理論及び方法 | 3 | | | 2 | |
| | TEAC316 | 教育相談 | 3 | | | 2 | |
| | TEAC317 | 進路指導論 | 3 | | | 2 | ※養護は除く |

| 区分 | 科目番号 | 科目名 | 受講年次 | 単位数 | | | 履修前提科目等 |
|-------------|---------|--------------|------|-----|----|----|------------------|
| | | | | 必修 | 選択 | 自由 | |
| 護(養)教育実(実)習 | TEAC318 | 中学校教育実習事前指導 | 3 | | | 1 | ※中免のみ ※事後指導含む |
| | TEAC319 | 高等学校教育実習事前指導 | 3 | | | 1 | ※高免のみ ※事後指導含む |

| | | | | | | | |
|------------------|---------|---|---|--|--|---|--------------------|
| | TEAC320 | 養護実習事前指導 | 3 | | | 1 | ※養護のみ |
| | TEAC401 | 中学校教育実習 | 4 | | | 4 | |
| | TEAC402 | 高等学校教育実習 | 4 | | | 2 | |
| | TEAC403 | 養護実習 | 4 | | | 3 | ※養護のみ |
| | TEAC404 | 教職実践演習（中・高） | 4 | | | 2 | ※養護は除く |
| | TEAC405 | 教職実践演習（養護） | 4 | | | 2 | ※養護のみ |
| | TEAC321 | 学校体験活動（養護） | 3 | | | 1 | ※養護のみ |
| 大学が独自に 設定する科目 | TEAC322 | 介護等体験 | 3 | | | 1 | ※社会福祉施設 ※特別支援学校 |
| | TEAC406 | 授業実践演習（英語） | 4 | | | 2 | |
| | TEAC407 | 授業実践演習（情報） | 4 | | | 2 | |
| 備考 | | ※取得を希望する免許状の種類によって履修要件が異なるため、細心の注意を払って履修すること。 | | | | | |

【別表10（第3条2関係）】教育職員免許状の所要資格に必要な授業科目の種類、単位数及び必修又は選択の別

1 中学校教諭一種免許状（国語）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 |
|-------------------------------------|------------------------|---|---|---|-------------|--|--|
| 科目区分 | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） | 日本語学概論 日本語史 現代日本語論 沖縄の言語 | 2 2 2 2 | 2 2 2 | 20単位以上 必修18単位の他、選択科目から2単位の修得すること。 | 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 |
| | | 国文学（国文学史を含む。） | 日本古典文学概論 日本近代文学概論Ⅱ 日本古典文学史Ⅰ 日本近代文学史 日本古典文学史Ⅱ 日本古典文学論 日本近代文学論 沖縄の文学 琉球文学概論 | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 2 2 | | |
| | 漢文学 | 漢文学概論Ⅰ 漢文学概論Ⅱ | 2 | 2 | | | |
| | 書道（書写を中心とする。） | 書写・書道概論 | 2 | | | | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ | 4 4 | | | |
| | 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | 2 2 2 2 2 2 | | | |
| 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 道徳教育の理論と方法 教育方法（ICTの活用を含む。） 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 2 2 | | 1 4 | | |
| 教育実践に関する科目 | | 中学校教育実習事前指導 中学校教育実習 教職実践演習（中・高） | 1 4 2 | | 7 | （事後指導含む） | |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | 介護等体験 | 1 | | | | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | 憲法 | 2 | | | | |
| | 体育 | 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | | 1 1 2 | | 2科目以上履修すること。 | |
| | 外国語コミュニケーション | ベーシック・イングリッシュ（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ | 2 2 | | | ・ベーシック・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 | |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|-------|----------------------------------|--|--------|---|
| | | /Ⅱ/Ⅲ) | | | | ・インテリジェント・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | | コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 | | 2 2 | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 |
| <p>※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、4単位である。 「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。</p> | | | | | | |

2 高等学校教諭一種免許状（国語）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------|---|--------------------------------------|-------------|---|--|
| 科目区分 | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。） | 日本語学概論 日本語史 現代日本語論 沖縄の言語 | 2 2 2 2 | 2 2 2 | 20単位以上 必修16単位の他、選択科目から4単位修得すること。 | 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 |
| | | 国文学（国文学史を含む。） | 日本古典文学概論 日本近代文学概論Ⅱ 日本古典文学史Ⅰ 日本近代文学史 日本古典文学史Ⅱ 日本古典文学論 日本近代文学論 沖縄の文学 琉球文学概論 | 2 2 2 2 2 2 2 2 | 2 2 | | |
| | 漢文学 | 漢文学概論Ⅰ 漢文学概論Ⅱ | 2 2 | 2 | | | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ | 4 4 | | | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | | 教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | 2 2 2 2 2 2 | | 1 2 | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法（ICTの活用を含む。） 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 2 | | 1 2 | |
| | 教育実践に関する科目 | | 高等学校教育実習事前指導 高等学校教育実習 教職実践演習（中・高） | 1 2 2 | | 5 | （事後指導含む） |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | | | — | | 1 2 | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | | 憲法 | 2 | | | |
| | 体育 | | 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | | 1 1 2 | | 2科目以上履修すること。 |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------|--|--------|--------|--|--|
| | 外国語コミュニケーション | ベーシック・イングリッシュ（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 2 | | | ・ベーク・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 | | 2 2 | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 |
| <p>※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。 「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。</p> | | | | | | |

3 中学校教諭一種免許状（社会）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------|------------------------|--------------------|---|--------------------------------------|----------------------|---|
| 科目区分 | 単位数 | 必修 | | 選択 | | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 日本史・外国史 | 教育の基礎的理解に関する科目27単位 | 日本史概論 日本の歴史Ⅰ 日本文化概論 日本史史料講読 国際社会と日本 世界史概論 世界の歴史 中南米の歴史 アジアの歴史 | 2 2 2 2 2 2 2 2 | 2 | 20単位以上 必修16単位の他、選択科目から4単位修得すること。 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 |
| | | 地理学（地誌を含む。） | 28単位 | 人文地理学 地誌学 自然地理学概論 | 2 2 2 | | |
| | | 「法学、政治学」 | 大学が独自に設定する科目4単位 | 法学 政治学 アジアの政治と社会 国際法 国際政治論 | 2 2 2 2 2 | 2 | |
| | | 「社会学、経済学」 | | 社会学 日本の社会 中南米の社会 沖縄の地域史 経済学総論 | 2 2 2 2 | 2 | |
| | | 「哲学、倫理学、宗教学」 | | 哲学 倫理学 比較宗教論 日本の宗教 アジアの宗教 | 2 2 2 2 2 | 2 2 | |
| | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ | 4 4 | | |

| | | | | | | | |
|--|-------------------------------------|--|----------------------------|-------------|----------------------|--------------|--|
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | 2 2 2 2 2 2 | | 1 2 | (事後指導含む) | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 道徳教育の理論と方法 教育方法 (ICTの活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 2 | | 1 4 | | |
| | 教育実践に関する科目 | 中学校教育実習事前指導 中学校教育実習 教職実践演習 (中・高) | 1 4 2 | | 7 | | |
| | 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | 介護等体験 | 1 | | 4 | | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | 憲法 | 2 | | | 2科目以上履修すること。 | |
| | 体育 | 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | | 1 1 2 | | | |
| | 外国語コミュニケーション | ベーシック・イングリッシュ (Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ) | 2 | | | | ・ベーシック・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | | イングリッシュ・コミュニケーション (Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ) | 2 | | | | |
| 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 | | 2 2 | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 | | |
| ※ ¹ 「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、4単位である。 「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。 | | | | | | | |

4 中学校教諭一種免許状 (英語)

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------|-------------|--|--------|----|---------------------------|--|
| 科目区分 | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | |
| 教科及び教科の指導法に | 教科に関する専門的事項 | 英語学 | 英語音声学 英文法 言語学概論Ⅰ 英語学概論 | 2 2 | | 20単位以上 | 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件 |
| | | 英語文学 | イギリス文学 アメリカ文学 | 2 2 | | 必修16単位の他、選択科目から4単位修得すること。 | |
| | | 英語コミュニケーション | 高等英語オーラル・コミュニケーション 高等英作文 高等英語講読 高等英語リスニング | 2 2 | | 2 2 | |

| | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------------------------|---------------------|---|---------------------------------|---|-----|--|
| 関する科目 | 異文化理解 | 大学が独自に設定する科目 4単位 | 英米文化概論Ⅰ | 2 | 2 | | としての必修・選択の別とは異なるものであること。 |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | 英米文化概論Ⅱ 異文化コミュニケーション論 | 2 2 | | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | | 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ | 4 4 | | | |
| | 教育の基礎的理解に関する科目等 | | 教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | 2 2 2 2 2 2 | | 1 2 | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 道徳教育の理論と方法 教育方法（ICTの活用を含む。） 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 2 2 | | 1 4 | |
| | 教育実践に関する科目 | | 中学校教育実習事前指導 中学校教育実習 教職実践演習（中・高） | 1 4 2 | | 7 | （事後指導含む） |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | | 介護等体験 授業実践演習（英語） | 1 2 | | 4 | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | | 憲法 | 2 | | | |
| | 体育 | | 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | 1 1 2 | | | 2科目以上履修すること。 |
| | 外国語コミュニケーション | | ペーパードラマ・イングリッシュ（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 2 | | | ・ペーパードラマ・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | | コンピュータリテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 | 2 2 | | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 |

※¹ 「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、4単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

5 高等学校教諭一種免許状（英語）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------|----------------------|---|-------------------------------------|----------------------|---|
| 科目区分 | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 英語学 | 教育の基礎的理解に関する科目23単位 | 英語音声学 英文法 言語学概論Ⅰ 英語学概論 | 2 2 2 2 | 2 2 | 20単位以上 必修16単位の他、選択科目から4単位修得すること。 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 |
| | | 英語文学 | 教科及び教科の指導法に関する科目24単位 | イギリス文学 アメリカ文学 | 2 2 | | |
| | | 英語コミュニケーション | | 高等英語オーラル・コミュニケーション 高等英作文 高等英語講読 高等英語リスニング | 2 2 2 2 | 2 2 | |
| | | 異文化理解 | | 大学が独自に設定する科目12単位 | 英米文化概論Ⅰ 英米文化概論Ⅱ 異文化コミュニケーション論 | 2 2 2 | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | | | 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅱ | 4 4 | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | | | 教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | 2 2 2 2 2 2 | 1 2 | （事後指導含む） |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | | | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法（ICTの活用を含む。） 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 2 | 1 2 | |
| | 教育実践に関する科目 | | | 高等学校教育実習事前指導 高等学校教育実習 教職実践演習（中・高） | 1 2 2 | 5 | |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | | | 授業実践演習（英語） | 2 | 1 2 | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | | | 憲法 | 2 | | |
| | 体育 | | | 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | 1 1 2 | | 2科目以上履修すること。 |
| | 外国語コミュニケーション | | | ベーシック・イングリッシュ（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 2 | | ・ベーシック・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | | | コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 | 2 2 | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 |

※¹ 「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

6 高等学校教諭一種免許状（地理歴史）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 | | |
|---|-------------------------------------|--------------|---|---|--------|----|-------------------------------------|--|-----|--|
| 科目区分 | | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 日本史 | 教育の基礎的理解に関する科目23単位 | 日本の歴史Ⅰ | 2 | | 20単位以上 必修12単位の他、選択科目から8単位修得すること。 | 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 | | |
| | | 外国史 | | 日本の歴史Ⅱ | 2 | | | | 2 | |
| | | 人文地理学及び自然地理学 | 教科及び教科の指導法に関する科目24単位 | 世界史概論 | 2 | | | | 2 | |
| | | | | 人文地理学 観光地理学 自然地理学概論 地球の環境とその保全 | 2 | 2 | | | 2 | |
| | | 地誌 | 大学が独自に設定する科目12単位 | 地誌学 | 2 | | | | 2 | |
| 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 沖縄の天然記念物 島嶼環境論 | 2 | | | 2 | | | | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | | 地理歴史科教育法Ⅰ | 2 | | | 1 2 | | | |
| | | | 地理歴史科教育法Ⅱ | 2 | | | | | | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | | 教職概論 | 2 | | | | | 1 2 | |
| 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | | | 2 2 2 2 2 | | | | | | | |
| 教育実践に関する科目 | | | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法（ICTの活用を含む。） 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 2 | | | 1 2 | | | |
| | | | 高等学校教育実習事前指導 | 1 | | | | | 5 | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | | | 高等学校教育実習 | 2 | | | 5 | （事後指導含む） | | |
| | | | 教職実践演習（中・高） | 2 | | | | | | |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | | | | | | 1 2 | | | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | | 日本国憲法 | | 憲法 | 2 | | | | | |
| | | 体育 | | 体育実技Ⅰ | 1 | | | 2科目以上履修すること。 | | |
| | | | | 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | 1 2 | | | | | |
| | | 外国語コミュニケーション | | ベーシック・イングリッシュ（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 | | | ・ベーシック・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 | | |
| イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 | | | | | | | | | |
| 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | | | コンピュータ・リテラシー | 2 | | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 | | | |
| | | | 数理・データサイエンス・AI入門 | 2 | | | | | | |

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

7 高等学校教諭一種免許状（公民）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 |
|--|---|---|---|---|-----------------------|--------------------------------------|---|
| 科目区分 | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」 社会学、経済学（国際経済を含む。）」 「哲学、倫理学、宗教学、心理学」 | 教育の基礎的理解に関する科目23単位 | 法学 国際法 政治学 国際政治論 アメリカ政治外交論 | 2 2 2 | 2 2 | 20単位以上 必修16単位の他に、選択科目から4単位修得すること。 | 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 |
| | | 教科及び教科の指導法に関する科目24単位 | 社会学 日本の社会 中南米の社会 沖縄の地域史 経済学総論 | 2 2 2 2 | 2 2 2 | | |
| | | 大学が独自に設定する科目12単位 | 哲学 倫理学 比較宗教論 日本の宗教 アジアの宗教 | 2 2 2 | 2 2 | | |
| | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）」 | 公民科教育法Ⅰ 公民科教育法Ⅱ | 2 2 | | | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教育の基礎的理解に関する科目 | 教職概論 教育原理 教育制度論 教育心理学 特別支援教育 教育課程論 | 2 2 2 2 2 2 | | 1 2 | (事後指導含む) |
| | | | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | 総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法 教育方法(ICTの活用を含む。) 生徒指導の理論及び方法 教育相談 進路指導論 | 2 2 2 2 2 | | |
| | 教育実践に関する科目 | 高等学校教育実習事前指導 高等学校教育実習 教職実践演習(中・高) | 1 2 2 | | 5 | | |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | | | - | | 1 2 | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | | 憲法 | 2 | | | |
| | 体育 | | 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ 健康・スポーツ科学 | | 1 1 2 | | 2科目以上履修すること。 |
| | 外国語コミュニケーション | | ベネチク・イングリッシュ(Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ) イングリッシュ・コミュニケーション(Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ) | 2 2 | | | ・ベネチク・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 |
| | 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | | コンピュータ・リテラシー 数理・データサイエンス・AI入門 | | 2 2 | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 |
| <p>※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。 「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。</p> | | | | | | | |

8 高等学校教諭一種免許状（商業）

| 教育職員免許法施行規則に定める科目区分及び免許状取得に必要な最低単位数 | | | 授業科目の名称 | 単位数 | | 本学における免許状取得に必要な最低単位数 | 備考 | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|--------------------------|------------------------|------------------|--|--------------------------------------|--|-----|
| 科目区分 | | 単位数 | | 必修 | 選択 | | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 教科に関する専門的事項 | 商業関係科目 | 経営学総論 | 2 | | 20単位以上 必修14単位の他に、選択科目から4単位修得すること。 | 必修及び選択の別は、教育職員免許状を取得する上での必修・選択の別であり、卒業要件としての必修・選択の別とは異なるものであること。 | |
| | | | 簿記原理 | 4 | | | | |
| | | | 上級簿記 | | 4 | | | |
| | | | ミクロ経済学 | | 2 | | | |
| | | | マクロ経済学 | | 2 | | | |
| | | | マーケティング論 | 2 | | | | |
| | | | 流通論 | 2 | | | | |
| | | | 会社法 | | 2 | | | |
| | | | 会計学原理 | | 2 | | | |
| | | | 原価計算 | | 2 | | | |
| 経済政策 | | 2 | | | | | | |
| 観光学概論 | 2 | | | | | | | |
| 観光事業論 | | 2 | | | | | | |
| 教科及び教科の指導法に関する科目 | 職業指導 | 大学が独自に設定する科目 | 職業指導Ⅰ | 2 | | | | |
| | | | 職業指導Ⅱ | 2 | | | | |
| | | | 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） | 12 | | | | |
| 教育の基礎的理解に関する科目等 | 教育の基礎的理解に関する科目 | | 教職概論 | 2 | | 1 2 | (事後指導含む) | |
| | | | 教育原理 | 2 | | | | |
| | | | 教育制度論 | 2 | | | | |
| | | | 教育心理学 | 2 | | | | |
| | | | 特別支援教育 | 2 | | | | |
| | 教育課程論 | 2 | | | | | | |
| | 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目 | | | 総合的な学習の時間の指導法 | 2 | | | 1 2 |
| | | | | 特別活動の指導法 | 2 | | | |
| | | | | 教育方法（ICTの活用を含む。） | 2 | | | |
| | | | | 生徒指導の理論及び方法 | 2 | | | |
| 教育相談 | | | | 2 | | | | |
| 教育実践に関する科目 | | | 高等学校教育実習事前指導 | 1 | | 5 | | |
| | | | 高等学校教育実習 | 2 | | | | |
| | | | 教職実践演習（中・高） | 2 | | | | |
| 大学が独自に設定する科目 ※ ¹ | | | | | 1 2 | | | |
| 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目 | 日本国憲法 | | 憲法 | 2 | | | | |
| | 体育 | | 体育実技Ⅰ | 1 | | 2科目以上履修すること。 | | |
| | | | 体育実技Ⅱ | 1 | | | | |
| | | | 健康・スポーツ科学 | 2 | | | | |
| 外国語コミュニケーション | | ベーシック・イングリッシュ（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 | | ・ベーシック・イングリッシュⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 ・イングリッシュ・コミュニケーションⅠ/Ⅱ/Ⅲのうち、いずれか1科目を修得すること。 | | | |
| | | イングリッシュ・コミュニケーション（Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ） | 2 | | | | | |
| 数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 | | | コンピュータリテラシー | 2 | | 左記2科目の中から1科目を履修すること。 | | |
| | | | 数理・データサイエンス・AI入門 | 2 | | | | |

※¹「大学が独自に設定する科目」の最低修得単位数は、12単位である。

「教育の基礎的理解に関する科目等」又は「教科及び教科の指導法に関する科目」の超過修得単位数については、「大学が独自に設定する科目」の修得単位数として換算される。

【別表11】卒業に必要な単位数（第4条関係）

国際学部国際文化学科

| 授業科目の区分 | | | 単位数 | 備考 | |
|---------|--------|--------|-------------|---------|--------|
| 国際文化学科 | 教養教育科目 | 共通コア科目 | アカデミックスキル科目 | 8単位以上 | 42単位以上 |
| | | | ライフデザイン科目 | 2単位以上 | |
| | | | 思想と論理科目 | 2単位以上 | |
| | | | 沖縄理解科目 | 2単位以上 | |
| | | | 健康スポーツ科目 | 2単位以上 | |
| | | 共通選択科目 | 外国語科目 | 10単位以上 | |
| | | | 国際理解科目 | 4単位以上 | |
| | | | 人文科学科目 | 4単位以上 | |
| | | | 社会科学科目 | 4単位以上 | |
| | | | 自然科学科目 | 4単位以上 | |
| | 専門教育科目 | 専門基礎科目 | 専門基礎科目 | 14単位以上 | 66単位以上 |
| | | | 専門発展・応用科目 | 40単位以上 | |
| | | | 演習科目 | 12単位以上 | |
| | | 自由選択科目 | 16単位以上 | 16単位以上 | |
| 合計 | | | 124単位以上 | 124単位以上 | |

国際学部国際観光産業学科

| 授業科目の区分 | | | 単位数 | 備考 | |
|----------|--------|--------|-------------|-------------------------------|--------|
| 国際観光産業学科 | 教養教育科目 | 共通コア科目 | アカデミックスキル科目 | 8単位以上 | 42単位以上 |
| | | | ライフデザイン科目 | 2単位以上 | |
| | | | 思想と論理科目 | 2単位以上 | |
| | | | 沖縄理解科目 | 2単位以上 | |
| | | | 健康スポーツ科目 | 2単位以上 | |
| | | 共通選択科目 | 外国語科目 | 10単位以上 | |
| | | | 国際理解科目 | 4単位以上 | |
| | | | 人文科学科目 | 4単位以上 | |
| | | | 社会科学科目 | 4単位以上 | |
| | | | 自然科学科目 | 4単位以上 | |
| | 専門教育科目 | 専門基礎科目 | 専門基礎科目 | 必修 6単位以上 選択必修、選択 8単位以上 | 66単位以上 |
| | | | 専門発展・応用科目 | 必修 8単位以上 選択必修、選択 32単位以上 | |
| | | | 演習科目 | 12単位以上 | |
| | | 自由選択科目 | 16単位以上 | 16単位以上 | |
| 合計 | | | 124単位以上 | 124単位以上 | |